

## 商品売買 第3問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 山形産業(株)は、先月、仕入先より商品¥500,000を掛で購入していたが、今月になって、¥10,000の割戻を行ってくれる旨の連絡があった。
2. 買掛金¥1,200,000の決済日となったが、仕入先から同社の大口顧客にかかわる規定にもとづいて買掛金の1%の支払いを免除する旨の通知があったので、支払免除額を差し引いた残額について小切手を振り出して買掛金の決済を行った。
3. 奈良商事(株)に商品¥200,000を販売し、代金のうち¥180,000は京都商会(株)振出し、奈良商事(株)宛の約束手形を裏書のうえ受け取り、残額は以前当社が振出した小切手で受け取った。
4. 商品を¥350,000で顧客に販売し、このうち¥50,000を現金で受取り、残額をクレジット払いの条件とした。信販会社へのクレジット手数料(クレジット販売代金の6%)も販売時に計上した。
5. 決算にあたり、売上原価を算定するための仕訳を行う。期首商品棚卸高は¥100,000、期末商品棚卸高は¥200,000であり、売上原価の算定は仕入勘定を用いて行っている。
6. 決算にあたり、売上原価を算定するための仕訳を行う。期首商品棚卸高は¥400,000、期末商品棚卸高は¥300,000、当期商品仕入高は¥2,500,000であり、売上原価の算定は売上原価勘定を用いて行っている。
7. 決算にあたり、商品の实地棚卸を行ったところ、实地棚卸数量は795個であった。なお、帳簿棚卸数量は800個、当該商品の取得原価は@¥15,000であったので、棚卸減耗損を計上する。
8. 決算にあたり、決算日における期末商品の正味売却価額は@¥14,900であった。なお、当該商品の取得原価は@¥15,000、实地棚卸数量は795個であったので、商品評価損を計上する。
9. 決算にあたり、商品に関する決算整理仕訳を行う。期首商品棚卸高は¥600,000であり、期末商品の帳簿棚卸数量は500個、实地棚卸数量は495個であった。また、当該商品の取得原価は@¥1,000、決算日における正味売却価額は¥980であった。売上原価の算定は、仕入勘定を用いて行っている。
10. 決算にあたり、商品に関する決算整理仕訳を行う。期首商品棚卸高は¥250,000であり、期末商品の帳簿棚卸数量は800個、实地棚卸数量は780個であった。また、当該商品の取得原価は@¥300、決算日における正味売却価額は¥310であった。売上原価の算定は、仕入勘定を用いて行っている。

## 商品売買 第3問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	買掛金	10,000	仕入	10,000
2	買掛金	1,200,000	仕入 当座預金	12,000 1,188,000
3	受取手形 当座預金	180,000 20,000	売上	200,000
4	現金 クレジット売掛金 支払手数料	50,000 282,000 18,000	売上	350,000
5	仕入 繰越商品	100,000 200,000	繰越商品 仕入	100,000 200,000
6	売上原価 繰越商品 売上原価	400,000 300,000 2,500,000	繰越商品 売上原価 仕入	400,000 300,000 2,500,000
7	棚卸減耗損	75,000	繰越商品	75,000
8	商品評価損	79,500	繰越商品	79,500
9	仕入 繰越商品 棚卸減耗損 商品評価損	600,000 500,000 5,000 9,900	繰越商品 仕入 繰越商品 繰越商品	600,000 500,000 5,000 9,900
10	仕入 繰越商品 棚卸減耗損	250,000 240,000 6,000	繰越商品 仕入 繰越商品	250,000 240,000 6,000

### 【解説】

4. 支払手数料； $(¥350,000 - ¥50,000) \times 6\% = ¥18,000$
7. 棚卸減耗損； $(800 \text{ 個} - 795 \text{ 個}) \times ¥15,000 = ¥75,000$
8. 商品評価損； $(¥15,000 - ¥14,900) \times 795 \text{ 個} = ¥79,500$
9. 期末商品棚卸高； $500 \text{ 個} \times ¥1,000 = ¥500,000$   
 棚卸減耗損； $(500 \text{ 個} - 495 \text{ 個}) \times ¥1,000 = ¥5,000$   
 商品評価損； $(¥1,000 - ¥980) \times 495 \text{ 個} = ¥9,900$
10. 期末商品棚卸高； $800 \text{ 個} \times ¥300 = ¥240,000$   
 棚卸減耗損； $(800 \text{ 個} - 780 \text{ 個}) \times ¥300 = ¥6,000$   
 商品評価損；取得原価@¥300 よりも正味売却価額@¥310 の方が高いため、商品評価損はなし。